

## 海外日本語教育学会 研究例会 発表・報告規定

### 1. 研究例会の内容と形態について

海外の日本語教育に関する「教育方法」「カリキュラムデザイン」「教材」「評価」「言語習得」「教育史」「言語（教育）政策」等の研究や報告で、未発表のものに限ります。二重投稿は受け付けられません。

研究例会には、「発表会」と「学習会」があります。詳しくは次ページをご覧ください。

### 2. 年間スケジュールと申し込みについて

研究例会は年度ごとに3回行います。スケジュールは原則として次のとおりです。

第1回 6月第2土曜日 申し込みの受け付け締め切り：3月7日

第2回 10月第2土曜日 申し込みの受け付け締め切り：7月7日

第3回 2月第2土曜日 申し込みの受け付け締め切り：11月7日

本学会の会員で、発表・報告を希望する方は受け付け期間内に、学会ホームページ上にある所定のフォームから申し込んでください。例会運営委員会で検討し、その結果をお知らせします。

研究例会での発表をお考えで、トピックや方法、時期について相談のある方は、下記のE-mailまでお問い合わせください。

E-mail [kgnk.info@gmail.com](mailto:kgnk.info@gmail.com) (例会運営委員会)

### 3. 発表・報告の時間と使用する言語

発表・報告は30分間程度ですが、場合により40分になることがあります。発表・報告の後に40分程度、質疑応答、ディスカッションを行います。

研究例会での使用言語は、原則として日本語とします。

### 4. 研究例会のオンライン配信

研究例会は、原則としてオンラインで配信され、研究例会での発表・報告、質疑応答、ディスカッションなどの様子を記録した動画がWEB上に載ります。

## 研究例会について

本学会では、研究例会を、設立趣意に沿って「海外の国や地域の日本語教育の歴史や実情をよく知り、学習者に寄り添った日本語教育を追求し」、「海外の日本語教育現場が抱えているさまざまな課題について解決策を探り、情報を広く共有する」ことを目指して行います。

研究例会には、下記の「発表会」と「学習会」があります。毎回の研究例会ではその両方が行われる場合もあり、どちらか一方が行われることもあります。

### 1. 発表会

“研究や実践の成果の発表や報告”を目的とします。

ここでの発表・報告は、海外の日本語教育のさまざまな事柄についての研究の成果、具体的な実践についての事実の報告、分析、考察などが中心となります。すなわち「学習者に寄り添った日本語教育を追求」した成果の発表・報告です。

### 2. 学習会

オンラインでの視聴者を含む“参加者や会員の研修、学習”を目的とします。

ここでの発表・報告は、参加者との情報共有であったり、参加者への問題提起であったり、研究例会でのディスカッションの話題提供であったりします。すなわち「課題についての解決策を探り、情報を広く共有する」ための具体的な発表・報告です。